



血清血漿調製用分離剤

ブルート Z

BLUT-Z

製造発売元  **室町ケミカル株式会社**
MUROMACHI CHEMICALS INC

本 社 ・ 工 場	〒836-0895 福岡県大牟田市新勝立町1丁目38番5号	TEL:0944-41-2131	FAX:0944-41-2133
東 京 支 社	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地 龍名館本店ビル5階	TEL:03-3526-4801	FAX:03-3526-4805
大 阪 営 業 所	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5丁目1番28号 新大阪八千代ビル別館 6階 BC号室	TEL:06-6393-0007	FAX:06-6393-0008
名 古 屋 営 業 所	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2丁目10番30号 インテリジェント林ビル602号室	TEL:052-265-5080	FAX:052-265-5081
福 岡 営 業 所	〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目9番25号 東晴天神ビルディング8階	TEL:092-753-8145	FAX:092-753-8147
つ く ば 工 場	〒304-0031 茨城県下妻市高道祖4219番2号	TEL:0296-43-7036	FAX:0296-43-6124

販売代理店

血清・血漿の分離に役立つ…

ブルートZ

血液の化学定量分析は血液採取時の生体成分を

迅速に測定することにより信頼度は高まります。

ブルートZは無色透明な粒状プラスチックで血清(血漿)と

赤血球との中間にあたる比重をもち、表面積が大であるため優れた分離能力を有しますので

短時間に且つ完全に血清(血漿)分離することができます。

特 長

1. 優れた分離能力を有します。

ブルートZは適切な比重と大きな表面積を有し、血液の遠心分離に都合の良い分離帯を形成しますので、血清(血漿)と血球が混ざらずに分離採取できます。

2. 血液凝固促進作用を有します。

ブルートZは血液凝固促進作用を有しますので、ポリスピッツを使用の場合でも容易に血清分離することができます。

3. 血液検査に影響を与えません。

ブルートZは化学的に不活性なので血清(血漿)の化学分析をはじめ、免疫血清学的検査などすべての血液検去に影響を与えません。

4. 使用法が簡便です。

1回の使用量(1～2ml)を薬匙にとり、遠沈管に注入して遠心分離にかけるだけです。

5. 経済的です

ブルートZはシリコーン系分離剤と異り、遠沈管の洗浄が容易にできます。

使 用 方 法

A. 血清分離方法

- ①血液を採取した遠心分離管の中に1回分(使用量)のブルートZを加え、凝固後2,500～3,000回転で3分間遠沈します。
- ②遠沈後血球層はブルートZによってしっかり固定されますので、ピペットを使わずに他の試験管に血清を移しかえることができます。又ピペットを使っても血球を吸引することはありません。

B. 血漿分離方法

- ①遠心分離管に抗凝固剤を加えた血液を採取します。
- ②1回分(使用量)のブルートZを加え、2,500～3,000回転で3分間遠沈します。
- ③遠沈後は血清採取のときと同様です。

ご 注 意

- ①採血後直ちに遠沈を行う場合フィブリンの発生を見る時がありますが、この場合少量のブルートZを更に加えて再度遠沈を行って下さい。
- ②ポリスピッツを使用して血清分離する場合は血液凝固を促進させる為、採血後なるべく早くブルートZを加えて下さい。
- ③血液量の多少によりブルートZの量を増減して下さい。
ブルートZの1回分の使用量は1～2mlです。

包 装

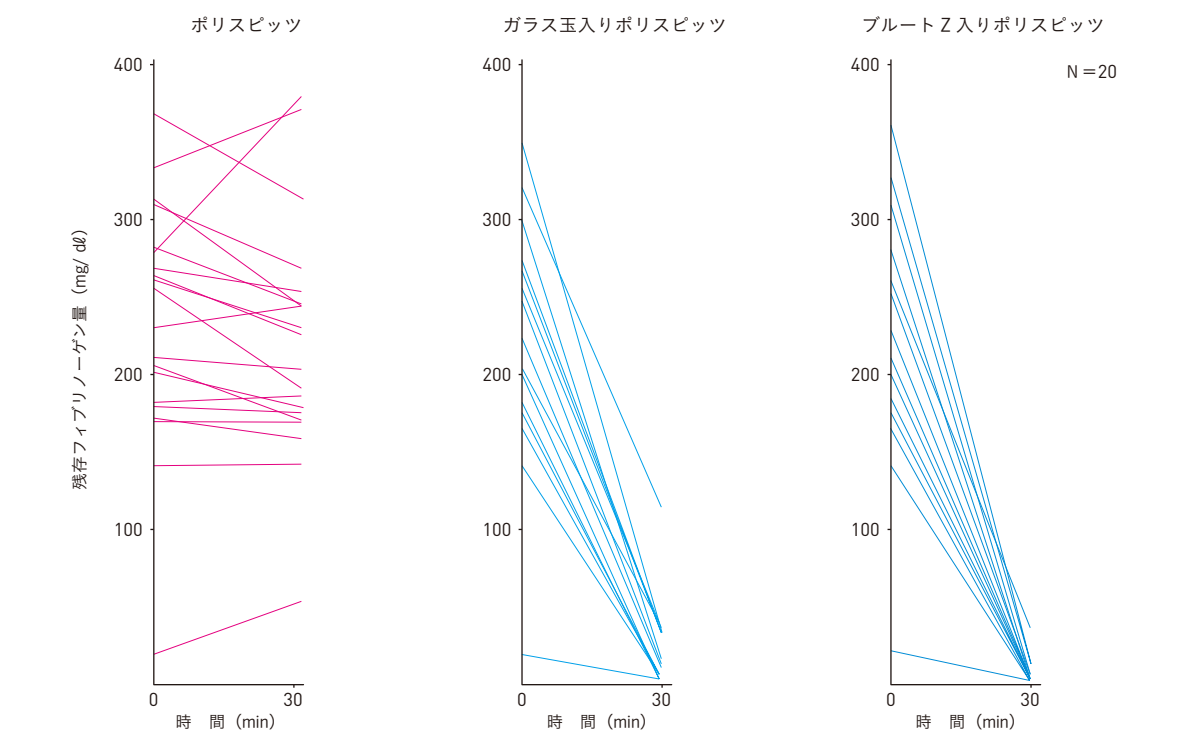
500ml、5,000ml

ブルート Z の検討成績

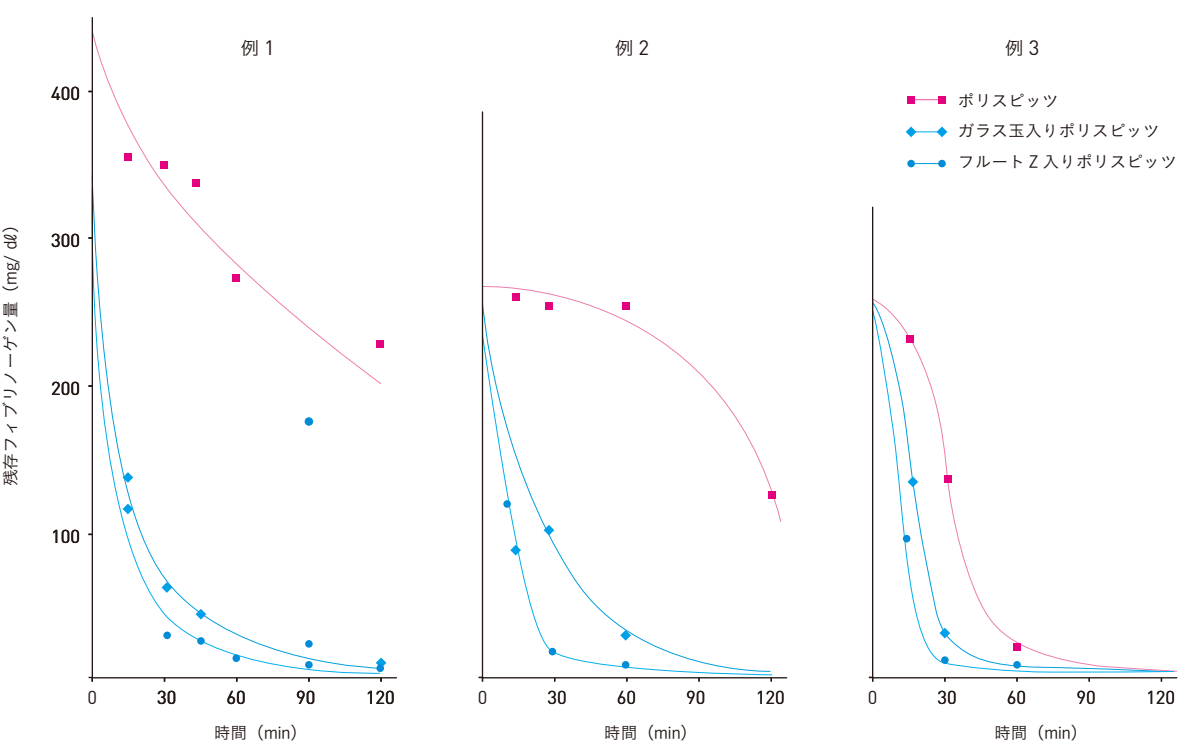
1. 血液凝固に及ぼす効果(衛生検査第29巻12号より)

採血直後にガラス玉及びブルートZ添加、遠沈後の残存フィブリノーゲン量の測定

A 30 分後の残存フィブリノーゲン量



B 計時変化 (120 分迄)



2. 血液検査に及ぼす影響(大阪府衛生検査技師会会報第44号より)

A 生化学検査に及ぼす影響について (測定値の比較)

種目 検体 No.	総蛋白 (g/dl)		コバルト 反応		アルカリフォス ファターゼ		尿素窒素 (mg/dl)		総コレステロール (mg/dl)	
	無添加	ブルート Z	無添加	ブルート Z	無添加	ブルート Z	無添加	ブルート Z	無添加	ブルート Z
1	8.0	8.0	2(3)	2(3)	10.5	10.5	22.1	23.2	220	225
2	7.8	7.8	3	3	7.5	7.5	21.6	21.6	200	195
3	7.5	7.5	1(2)	1(2)	12.5	12.5	18.4	18.4	190	180
4	7.4	7.4	3	3	8.5	8.0	22.7	23.2	195	195
5	7.7	7.7	2	2	8.0	7.5	19.3	18.7	220	215
6	7.6	7.6	3	3	8.0	7.0	20.5	20.0	185	180
7	7.8	7.8	2	2	7.0	7.0	20.0	20.0	170	175
8	7.9	7.9	2	2	10.5	10.0	20.5	19.5	205	195
9	7.8	7.8	3(4)	3(4)	7.0	7.0	19.0	19.0	205	210
10	7.7	7.7	3	3	7.0	7.0	23.7	23.2	225	220
11	8.2	8.2	1(2)	1(2)	10.0	10.0	21.6	22.1	225	230
12	8.1	8.1	2	2	10.0	9.5	20.5	19.5	215	205
13	8.0	8.0	2(3)	2(3)	8.0	8.0	17.9	17.4	175	170
14	7.2	7.2	2(3)	2	9.5	9.0	22.7	22.7	210	200
15	7.6	7.6	3	3	6.5	6.5	16.4	17.3	215	190
16	7.9	7.9	3	3	6.0	6.0	19.5	19.0	180	180
17	7.3	7.3	(1)	(1)	8.0	7.5	23.2	21.6	170	180
18	7.7	7.7	2(3)	2(3)	7.5	7.0	20.6	20.6	200	185
19	7.3	7.3	3	3	8.5	8.5	20.6	20.6	170	165
20	8.0	8.0	5	5	9.5	9.5	19.0	19.0	155	155
計	154.5	154.5			170.0	165.5	409.8	406.6	3930	3850
平均値	7.73	7.73			8.50	8.28	20.49	20.33	196.5	192.5
日常測定 変動係数					±2.3%		±8.3%		±3.9%	

B トリオソルブ測定値に及ぼす影響について (測定値の比較)

(単位%)								
検体 No.	無添加	ブルート Z	検体 No.	無添加	ブルート Z	検体 No.	無添加	ブルート Z
1	29.0	28.4	6	24.0	23.8	11	27.5	28.5
2	26.4	27.2	7	27.5	27.3	12	29.5	30.0
3	26.8	25.8	8	29.5	29.0	計	332.5	334.8
4	23.8	23.8	9	32.5	32.5			
5	28.4	27.0	10	39.0	31.5	平均値	27.71	27.90